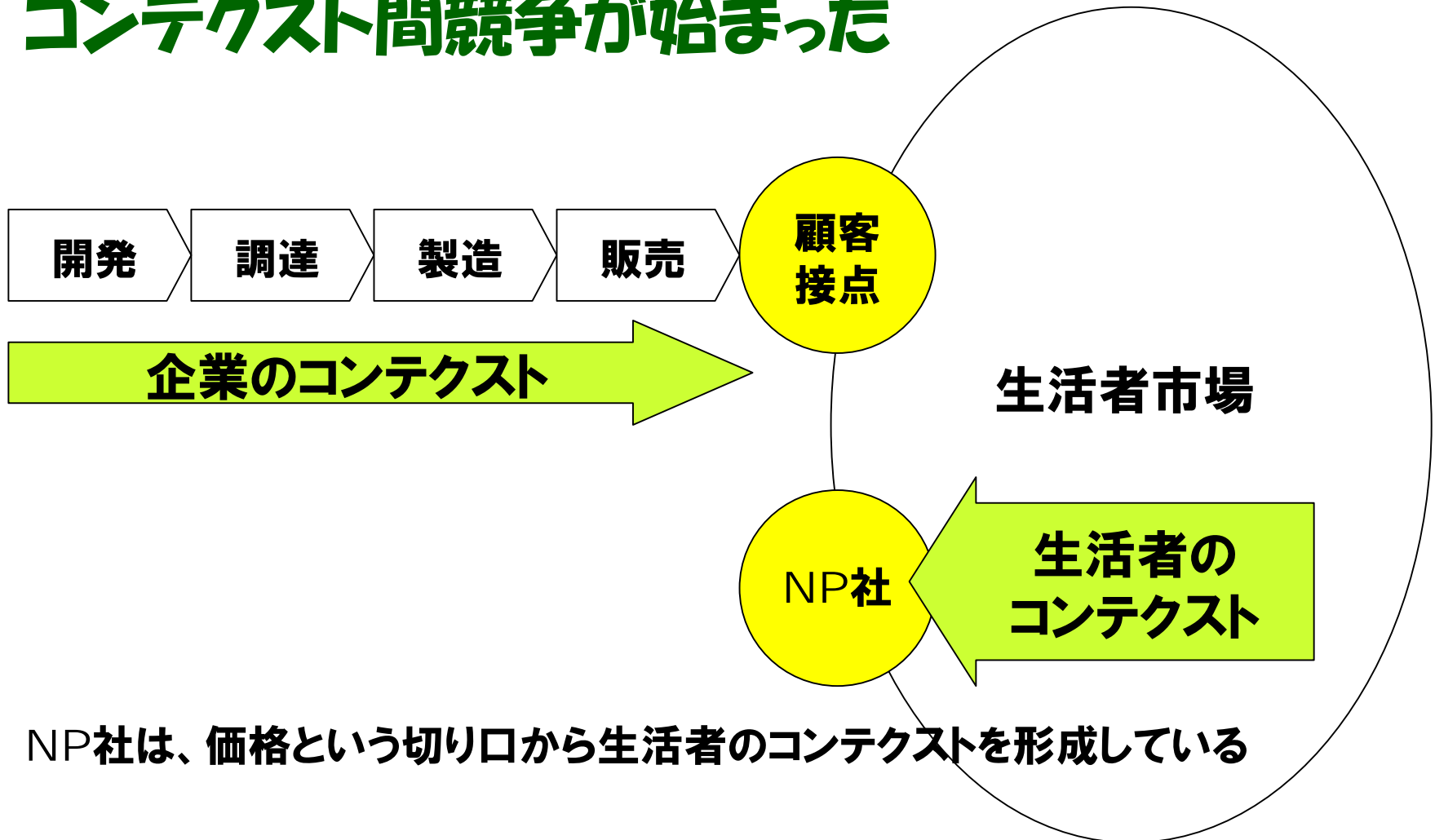


コンテキストをめぐる新しい競争環境の考察

Webマーケティング、 この次のステージとは？ (ダイジェスト版)

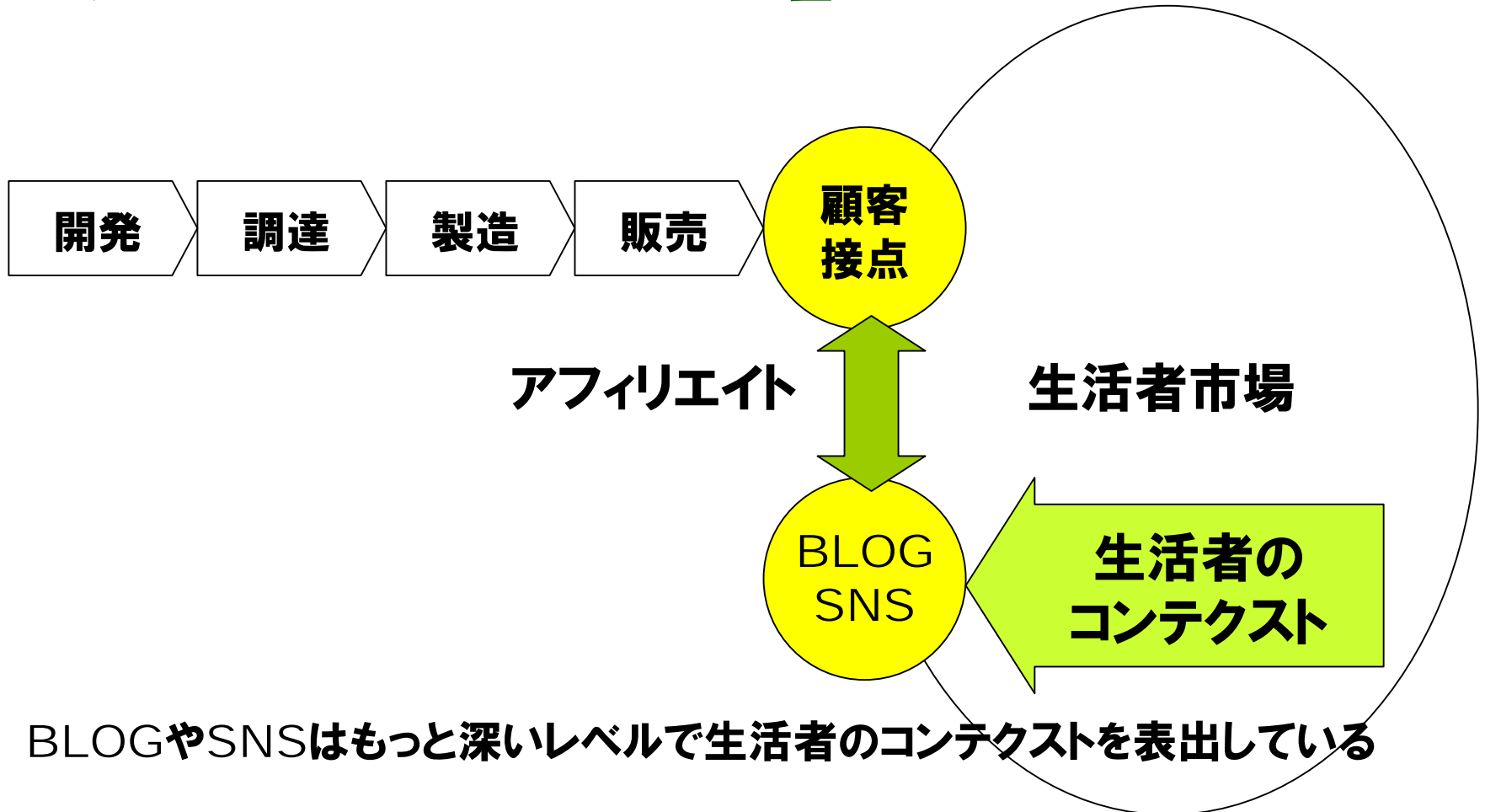
ケイズワーク 菊地史彦

コンテキスト間競争が始まった

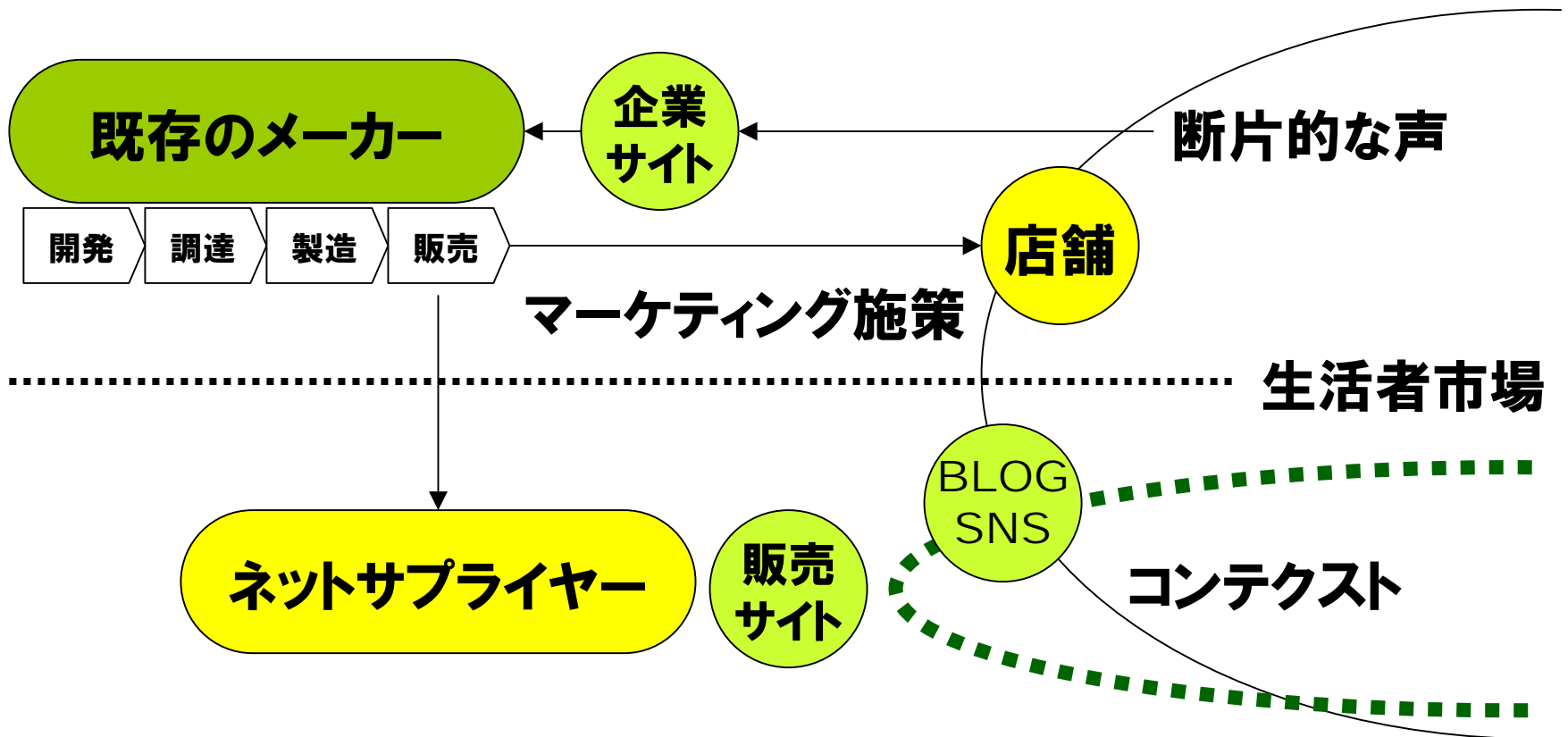


NP社は、価格という切り口から生活者のコンテキストを形成している

コンテキストのチャンネルは増えている



古い世界と新しい世界？



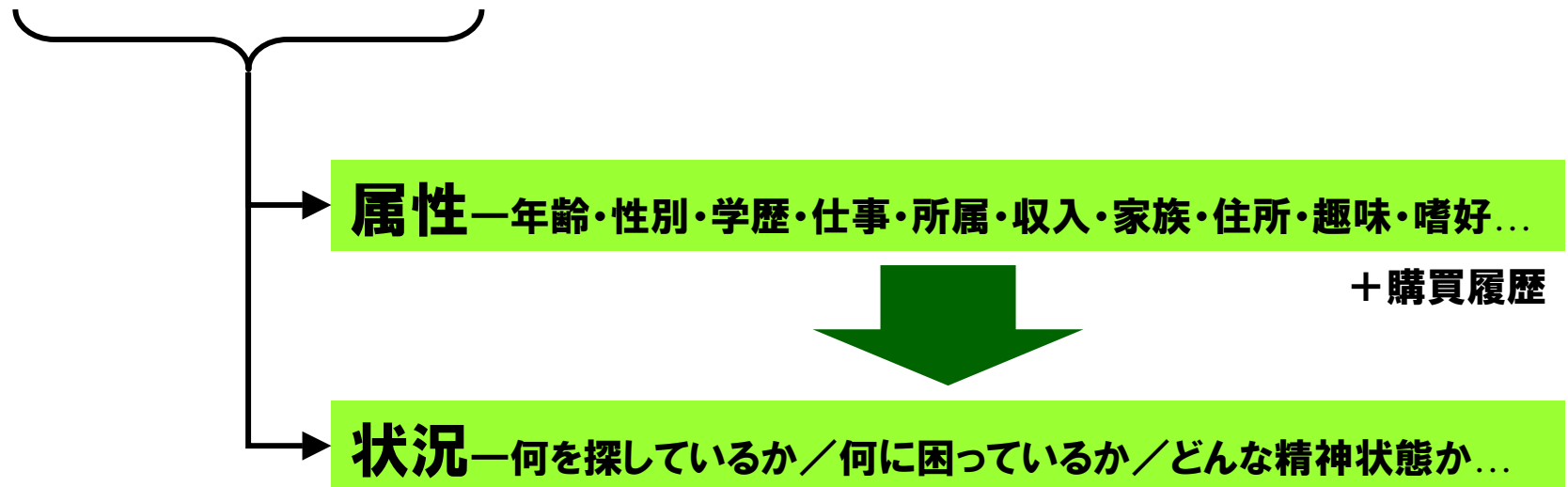
「コンテキスト」の再評価

- 発言や行動はコンテキストの理解なしに解明できない
- コミュニケーションはむしろコンテキストの交換である
- 属性よりコンテキスト(状況)が意識と行動を左右する

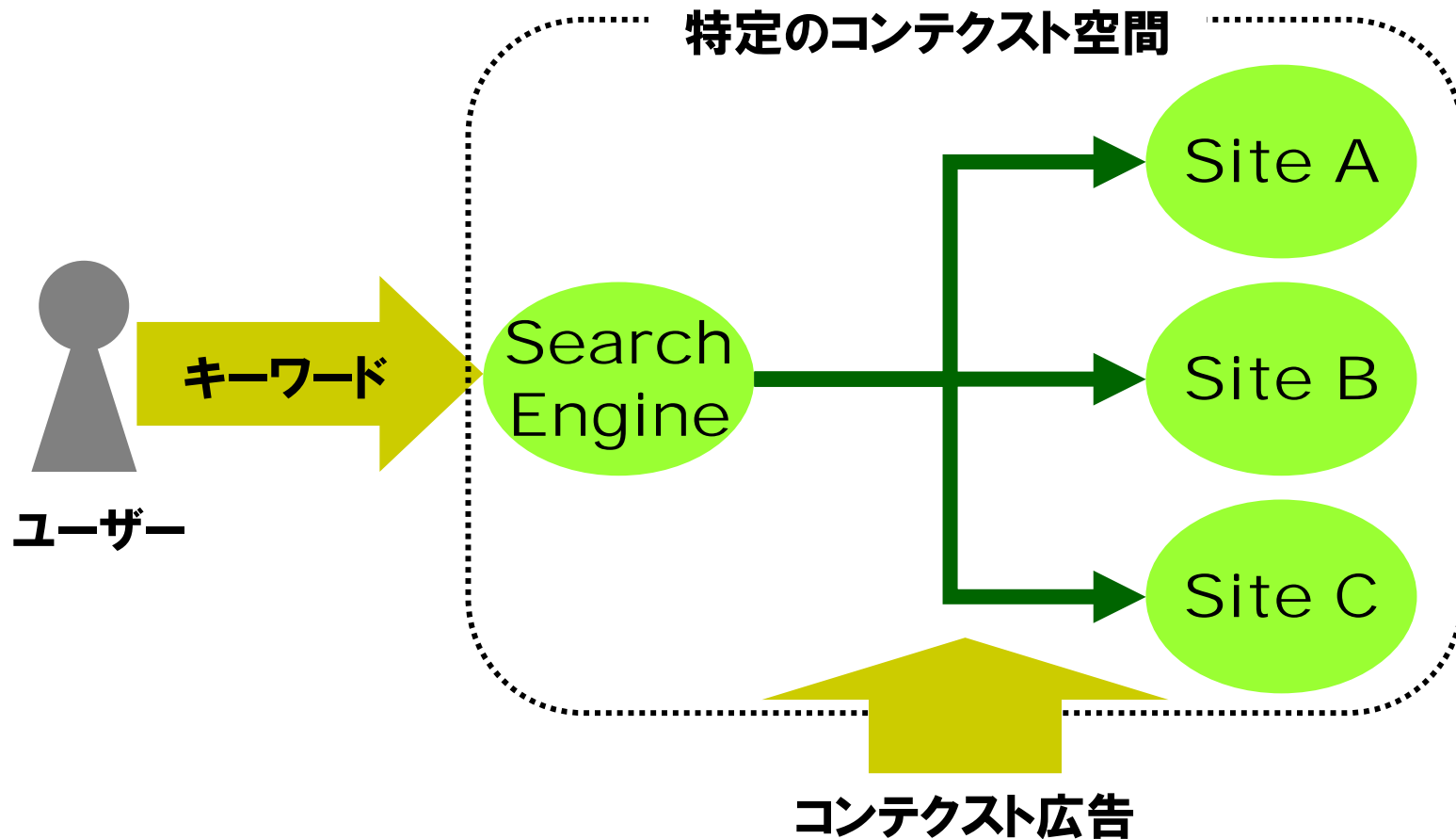
「コンテキスト」の活用

基本方程式

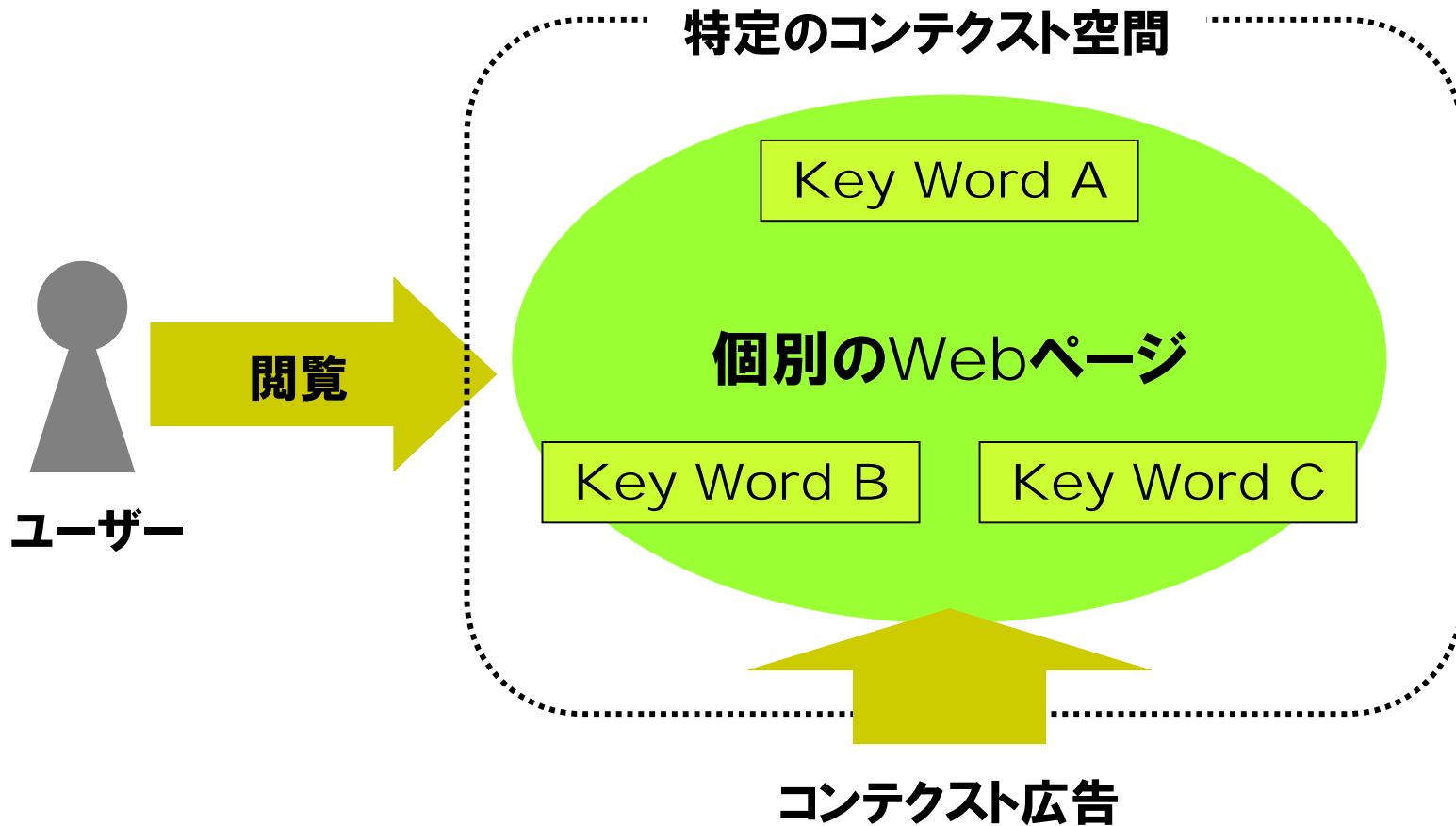
コンテキストの理解がコミュニケーション効率を高める



コンテキストマーケティングの世界



コンテキストマーケティングの世界



Web空間とコンテキストマーケティング

- Webは「何かを探しに行く」ためのサーチメディア
- 検索サイトにはキーワードという宝物が転がっている
- 情報探索行動は購買行動につながるはずだ（?!）

キーワードはコンテキストを伝えているか？

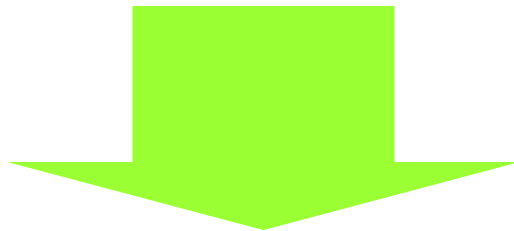
キーワード広告には失敗がつきものらしい...

Jeff Rootのブログによれば、

「例えば最近の報道によると、スーツケースから遺体の一部が見つかった陰惨な殺人事件に関するNew York Postの記事の近くに、旅行かばんメーカーの広告が表示されたという」

賢いコンテキストマーケティングへ

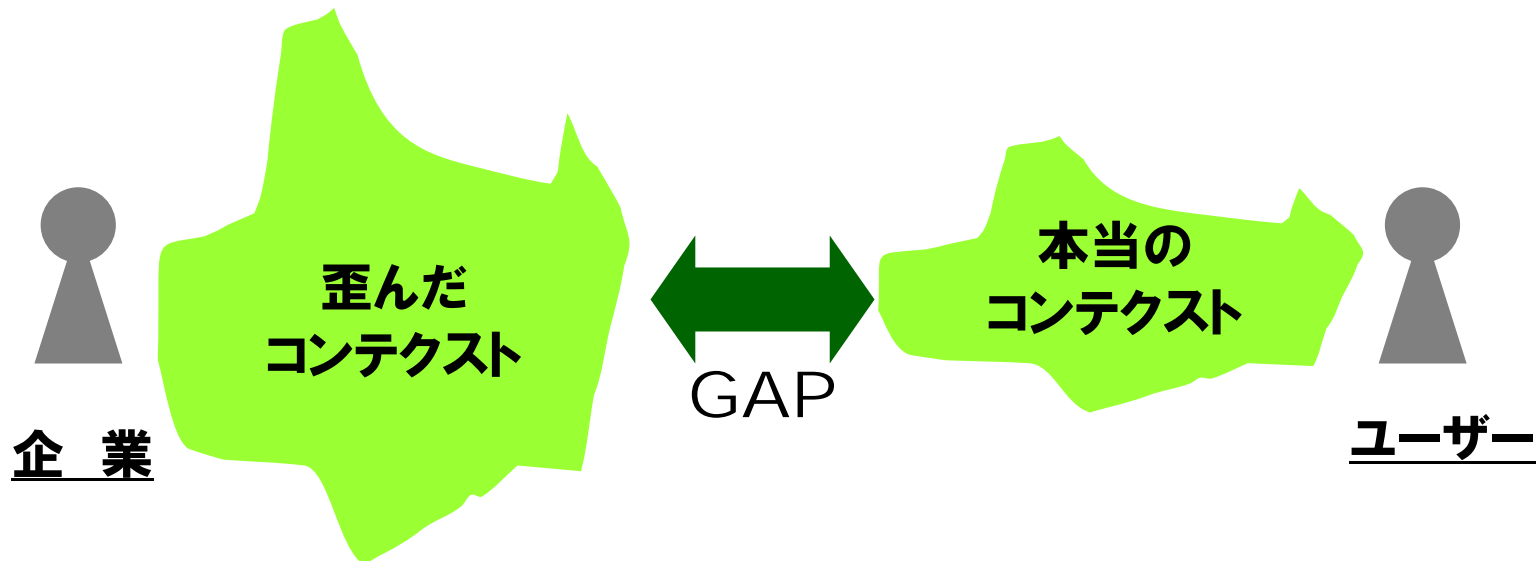
- ・コンテキストの「読み」を間違えないために何をすべきか？
- ・技術的解決: キーワードのみならず周辺の言葉を参照
- ・人間的解決: 編集者が個別にフィルタリングをかける



コンテキストマーケティングの品質は数年で向上(?!)

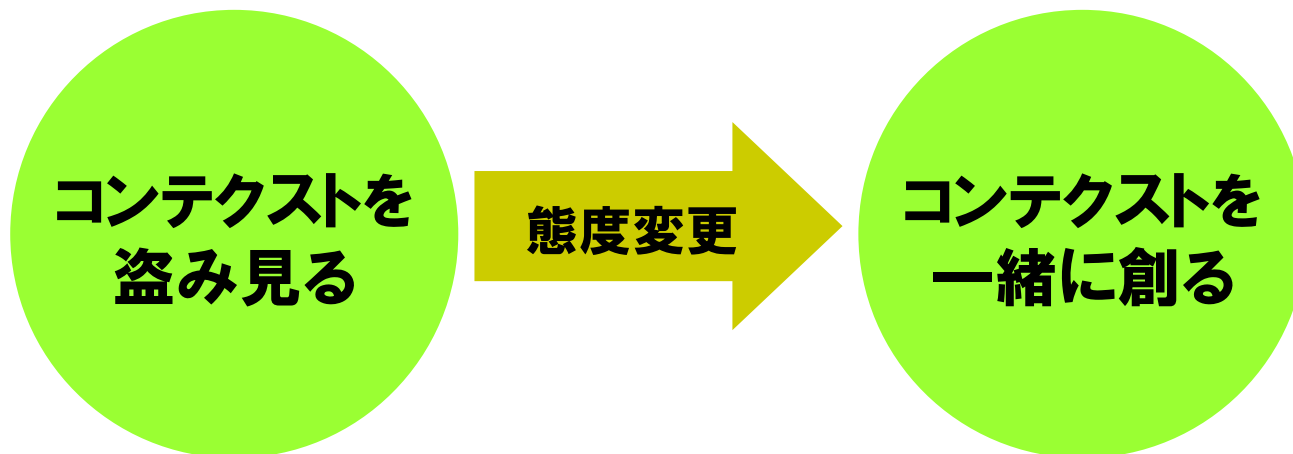
しかしコンテキストを読み解くのは難しい

- ・同じ言葉を使っている、コンテキストは「百人百通り」
- ・コンテキストの解読とはおそらく最高度の知的な作業
- ・実は、ユーザーにも自分のコンテキストが分からない！



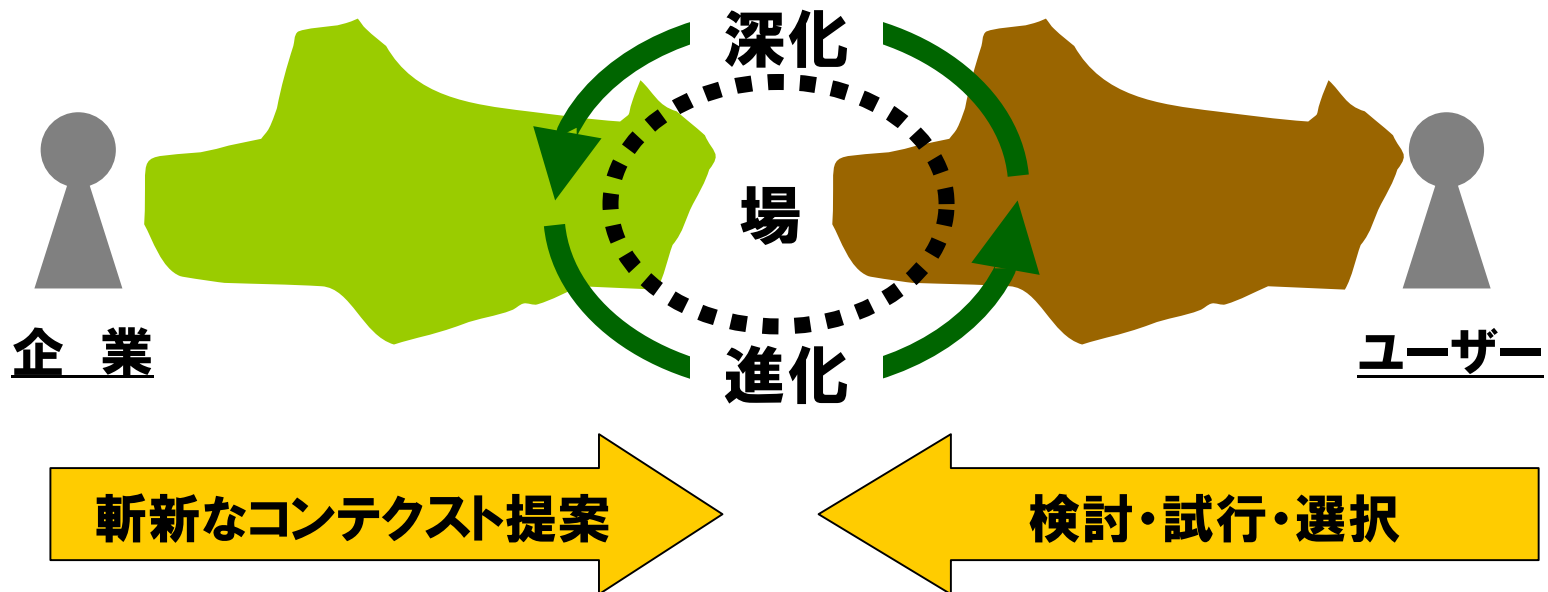
コンテキストとは、摺り合わせるもの

- ・ユーザーのコンテキストをユーザーの協力を得て構成する
- ・コンテキストに対する「構え方」を変える必要が出てくる



コンテキストを真似し合い、刺激し合う関係

- ・コンテキストの共有が最も安定した相互関係を創り出す
- ・コンテキストを共有し、その深化を提案し合う「場」を創る



「古い世界」をどう変えるか？

